平成23年8月12日

各 位

上場会社名　日本電計株式会社
代表者　代表取締役社長 武蔵　信義
（コード番号　9908）
問合せ先責任者　代表取締役専務 佐藤　信介
（TEL　03-3251-5731）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年５月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	30,000	500	400	300
今回修正予想(B)	30,000	500	400	450
増減額(B-A)	0	0	0	150
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	50.0
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	28,024	451	334	261

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	66,000	1,200	1,100	700
今回修正予想(B)	66,000	1,200	1,100	850
増減額(B-A)	0	0	0	150
増減率(%)	0.0	0.0	0.0	21.4
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	64,805	1,199	1,129	795

平成24年3月期第2四半期（累計）個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成23年9月30日）

	売上高	経常利益	四半期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	29,000	300	200
今回修正予想(B)	29,000	300	350
増減額(B-A)	0	0	150
増減率(%)	0.0	0.0	75.0
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成23年3月期第2四半期)	―	―	―

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年4月1日～平成24年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	64,000	900	600
今回修正予想(B)	64,000	900	750
増減額(B-A)	0	0	150
増減率(%)	0.0	0.0	25.0
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	62,612	876	688

修正の理由

1．連結業績

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災によるサプライチェーンの寸断や、原発事故に端を発した電力供給不安により企業の生産活動に支障が生ずる厳しい状況で推移いたしました。また、海外でも、東日本大震災によるサプライチェーンの寸断による部品供給に支障が出て海外での自動車生産にも影響を与えた他、欧州諸国の財

政危機、中国や米国での景気の先行懸念が生じる不透明な状況で推移いたしました。一方、当社グループが属する電子計測器、電源機器、環境試験機器等の業界におきましては、国内では、電力不足への対応として、太陽光発電、LEDや蓄電装置等の分野では積極的な研究開発が進められておりますが、主要ユーザーである電機・自動車業界は消費の動向を見極めた慎重な設備投資姿勢が見られました。このような状況のもと、当社グループは、国内・海外の幅広い営業拠点網を活用して、環境・エネルギー関連市場を中心に積極的なソリューション営業活動を展開いたしました。東アジアでは、景気回復を受けた海外子会社の業績が順調に推移いたしました。

以上の結果、当第1四半期の連結累計期間の売上高は137億2千7百万円（前年同四半期比14.6%増）となりました。損益面では、粗利益率の改善に加え、前々期から取り組んでおります経費削減効果により、営業利益は2億8千9百万円（前年同四半期比21.7%増）となりました。第1四半期は為替相場が比較的安定していたことやユーロ建出資証券の配当収入1千1百万の収入もあり、経常利益は2億9千3百万円（前年同四半期比47.5%増）となりました。また、保有しておりましたユーロ建出資証券（額面200万ユーロ）が繰上償還されたことに伴い、5千4百万円の特別利益を計上したこと、また今期から繰延税金資産として、8千2百万円を計上することから、第1四半期連結純利益は3億2千4百万円（前年同四半期比103.3%増）となりました。

第2四半期連結期間につきましては、日本国内では、産業界で電力不足への対応のための変則的な生産体制が実施される他、欧米における債務問題の顕在化による著しい円高の進展もあり、当社の主要ユーザーである電機・自動車業界は、設備投資計画を見直し慎重な姿勢に転ずる可能性もあります。海外では、欧米の財政危機に端を発した危機感が世界の景気全体へ影響を及ぼすのではないかという懸念から、景気への不透明感が増しており、当社グループを取り巻く経済環境は、予断を許さない状況にあります。

こうした状況下ではありますが、当社の強みである国内・海外の幅広い営業拠点網を活用して、環境・エネルギー関連市場を中心に積極的なソリューション営業活動の展開で、受注の確保がほぼ計画通りに進行していることに加え、東アジアを中心とした海外子会社の業績も順調に推移する見込みです。また、第2四半期連結累計期間の当期純利益は、第1四半期で計上したユーロ建出資証券の繰上償還による特別利益計上と税効果会計での繰延税金資産の計上が想定外でありましたので、その増加分約1億5千万円を増額修正するものであります。

以上の理由から、平成23年5月13日付けの「平成23年3月期　決算短信」で開示いたしました今期の第2四半期累計期間の業績予想を修正いたします。なお、通期につきましては、第2四半期連結累計期間の修正分を踏まえ、通期業績予想も修正するもであります。

2. 個別業績

連結業績予想の修正理由と同様であります。

(注)当業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は、様々な要因により異なる場合がありますので、ご承知おきください。

以 上